

水辺の安全 復習シート

ねん 年	くみ 組	なまえ 名前
---------	---------	-----------

問題にちょうせんしてみましよう。

- ① 右の救助器材の名前を記入しましよう。

()

①



- ② 右の救助器材の名前を記入しましよう。

()

②



- ③ 右の器材の名前を記入しましよう。

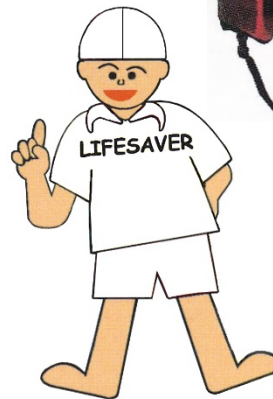
()

③



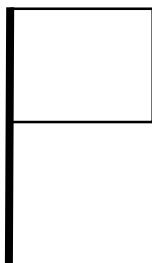
- ④ 右のライフセーバーのぼうしと服を、黄色と赤でぬりましよう。

④

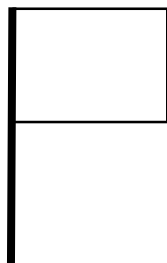


- ⑤ 次の旗を、正しい色でぬりましよう。

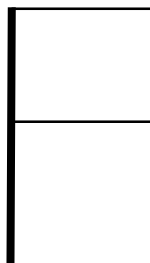
遊泳可能



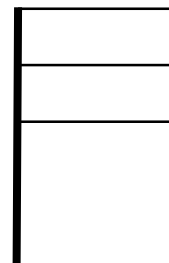
遊泳注意



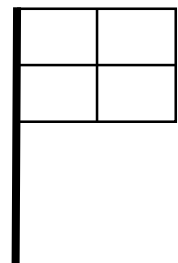
遊泳禁止



エリアフラッグ



きん急ひ難



遊泳可能なエリアをしめす旗です。この旗2本が立っている間が、遊泳可能なエリアです。

つ波など、ただちにひ難が必要なときにかかげられる旗です。海から上がり、高台へひ難ましよう。

⑥ おぼれている人を見つけたとき、水に入らないで助ける方法を考えましょう。

1. まず、何をしたらよいでしょう。思いついたことを全て書きましょう。

⑥



2. 何を使って助けたらよいでしょう。思いついたことを全て書きましょう。

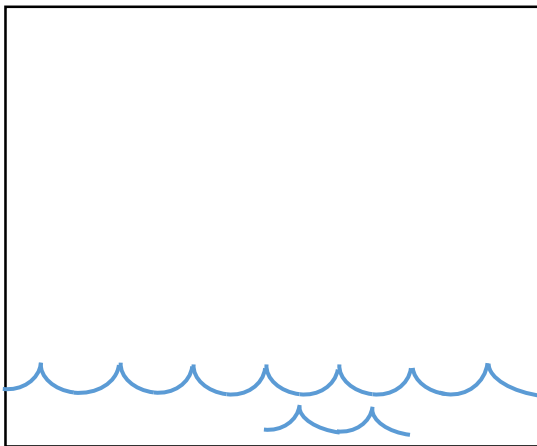
⑦ 水辺で活動するときに、バディシステムをするのはなぜでしょう。

()

⑧ ライフジャケットを身につけていると、どのような利点があるでしょう。

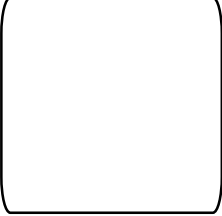
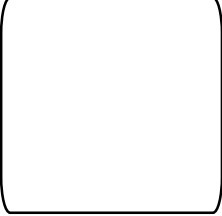
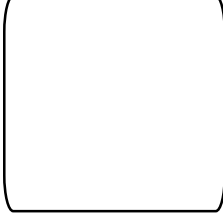
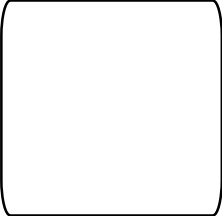
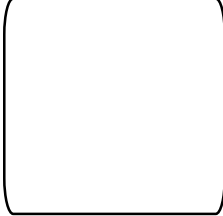
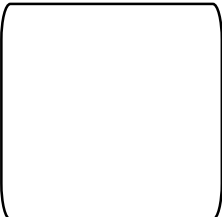
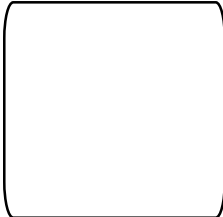
()

⑨ 「助けてサイン」をかいてみましょう。



< 発展編 >

下の標識は、全国共通の指標として、広く知ってもらおう活動を進めているものです。それぞれどのような意味の指標か、考えてみましょう。

<p>■^{せん}逆潜流注意</p> 	<p>■クラゲ注意</p> 	<p>■水深注意</p> 	<p>■急深注意</p> 
<p>■遊泳可能</p> 	<p>■ダイビング可能</p> 	<p>■魚釣可能</p> 	<p>■サーフィン可能</p> 
<p>■サーフィン禁止</p> 	<p>■遊泳禁止</p> 	<p>■魚釣禁止</p> 	<p>■ダイビング禁止</p> 

かのうひょうしき 可能標識 (□型、青地に白で表示)



きんしひょうしき 禁止標識 (○型、白地に赤と黒で表示)



ちゅういひょうしき 注意標識 (◇型、黄色地に黒で表示)

